



# MS341-47015/6/7/8 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDプリウスPHV用フロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書には本商品の取付・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付前に必ずお読みのうえ、正しい取付・取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付はできません。必ず車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-47015-A1 MS341-47017-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン	プリウス PHV ZVW52 ~' 20.6
MS341-47015-A2 MS341-47017-A2	プラチナホワイトパールM	プリウス PHV ZVW52
MS341-47015-C0 MS341-47017-C0	アティチュードブラックM	
MS341-47016-NP MS341-47018-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

## ■ 構成部品

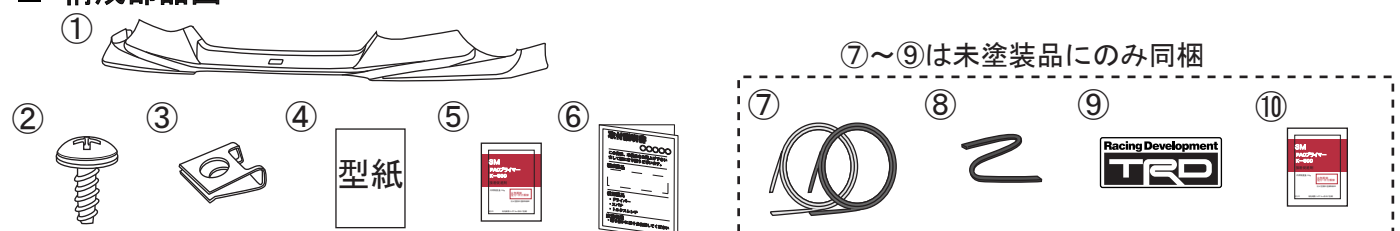
No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	タッピングスクリュー	2	5×16
③	Jナット	2	
④	型紙	1	
⑤	PACプライマー	1	K-500
⑥	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
以下、MS341-47016/18-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑦	モール	(各1)	黒/グレー L=1100mm 断面形状イ型
⑧	モール	1	黒 L=100mm 断面形状L型
⑨	エンブレム	1	
⑩	PACプライマー	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品図



# 取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ⓪ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⓪ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ⓪ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）または「（株）タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ⓪ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ⓪ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ⓪ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ⓪ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ⓪ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

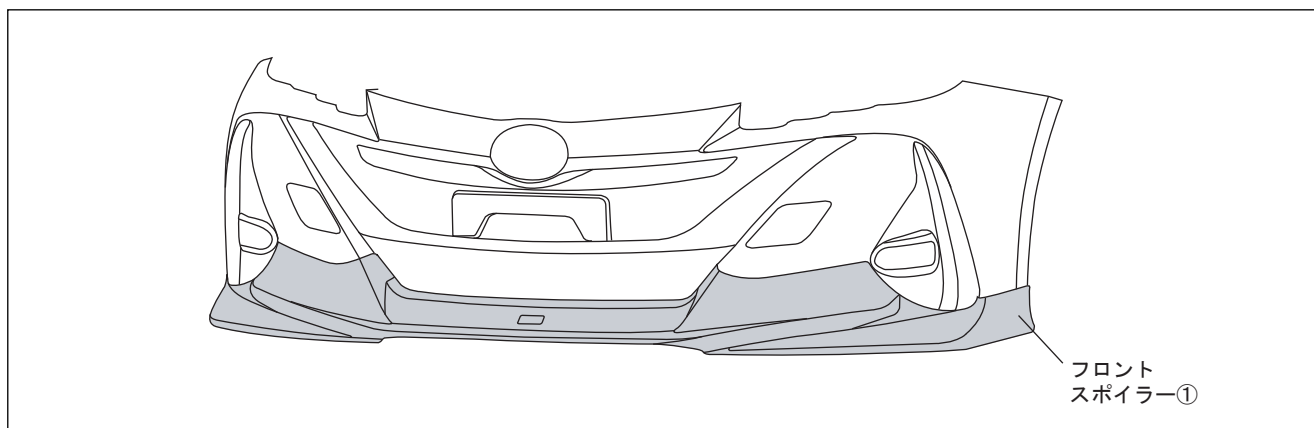
## ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ) . . . . . 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品 . . . . . 3
4. 取付け要領 . . . . . 3 ~ 9
5. 取付け後の確認・点検 . . . . . 9

## ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## ■ 取付構成図

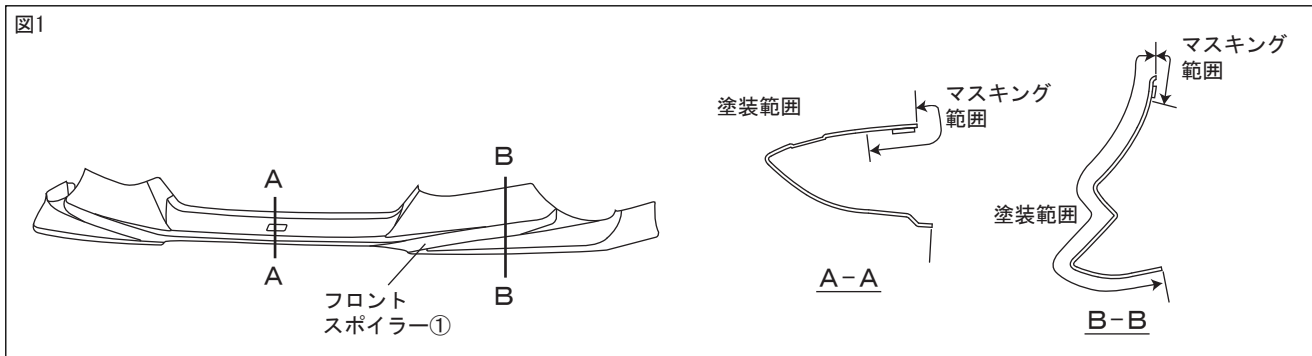


## ■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-47016/18-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

### □ フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



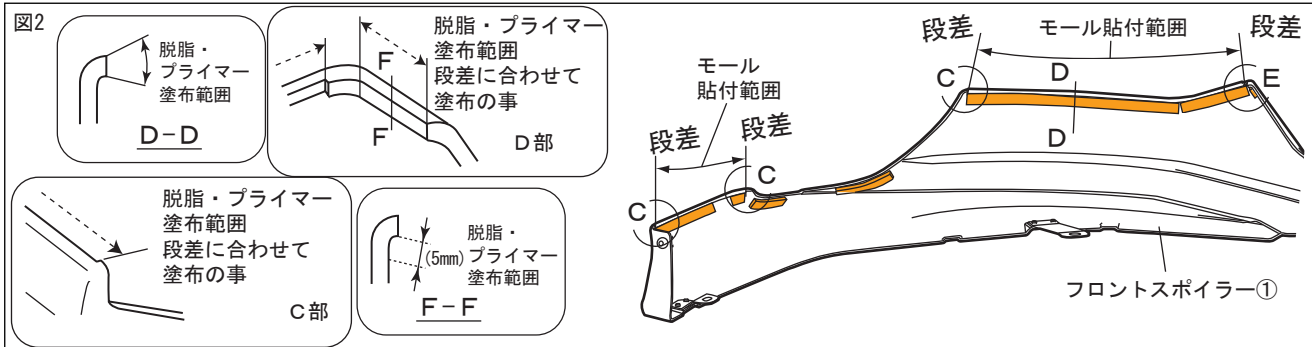
1. 図1のようにフロントスポイラー①をボディ色で塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

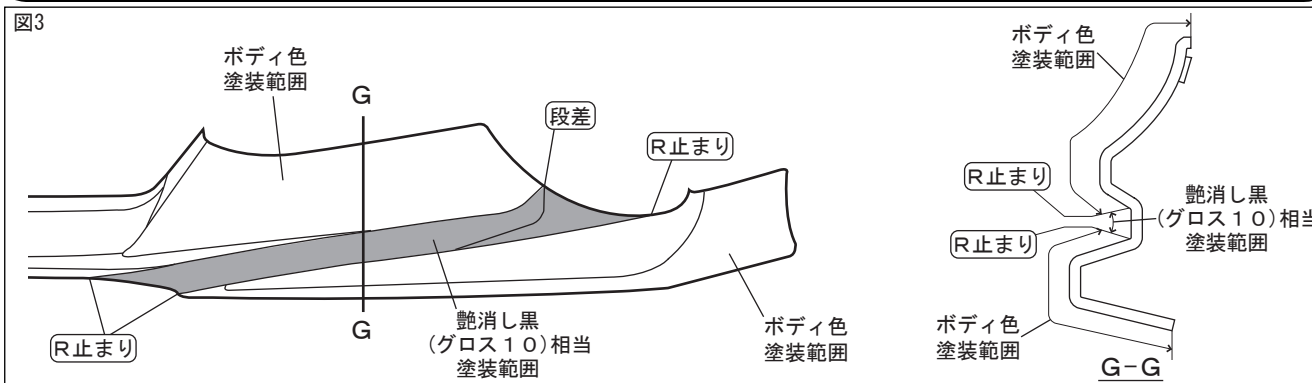
□モールの貼付け ※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



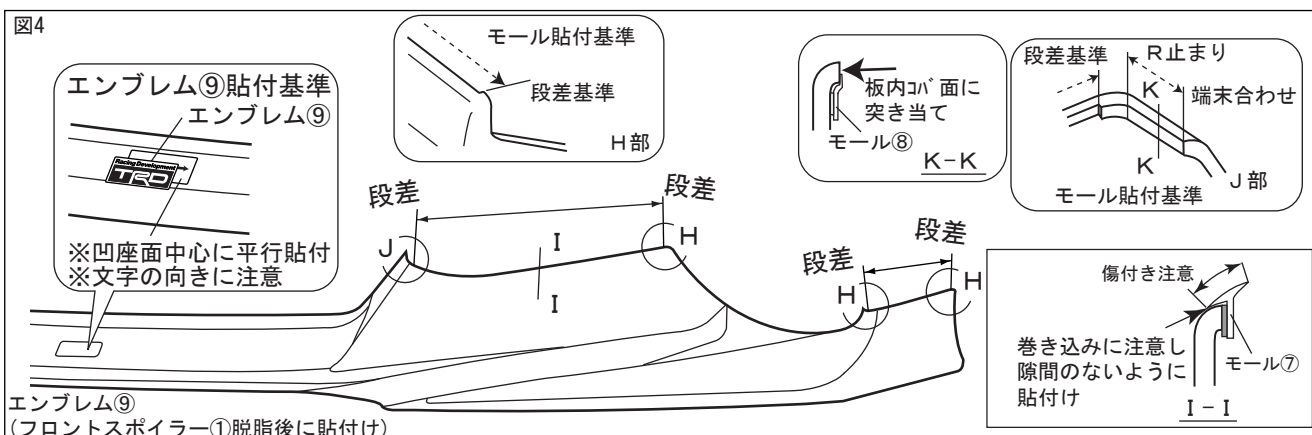
2. 図2のようにモールの貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



3. 図3のようにフロントスポイラー①をマスキングテープを使用してマスキングし、艶消し黒(グロス10)相当で塗装する。



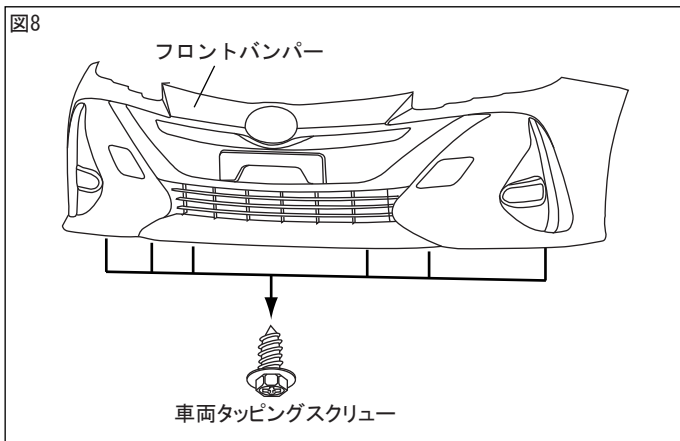
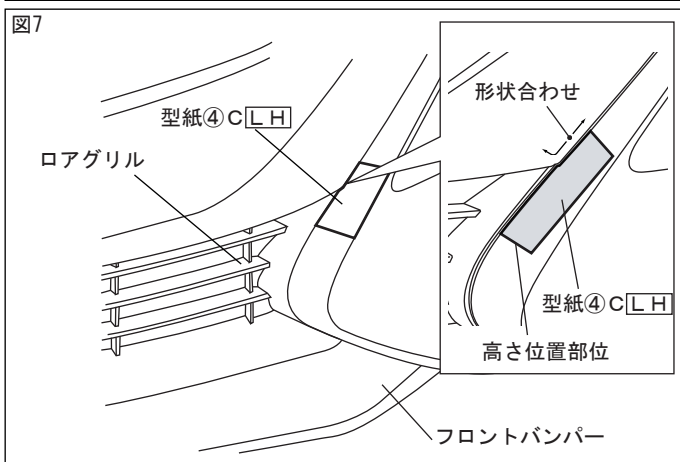
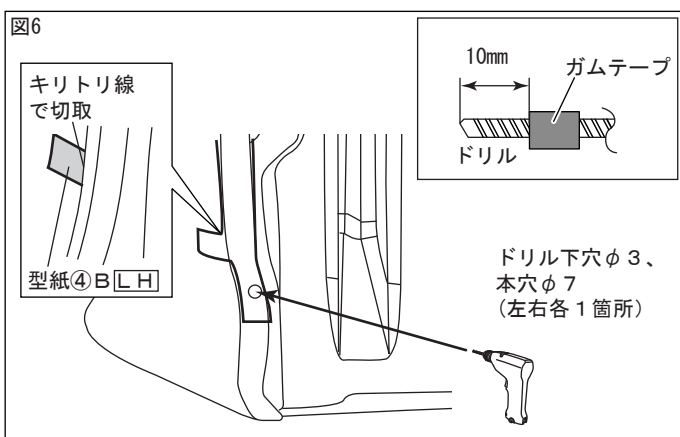
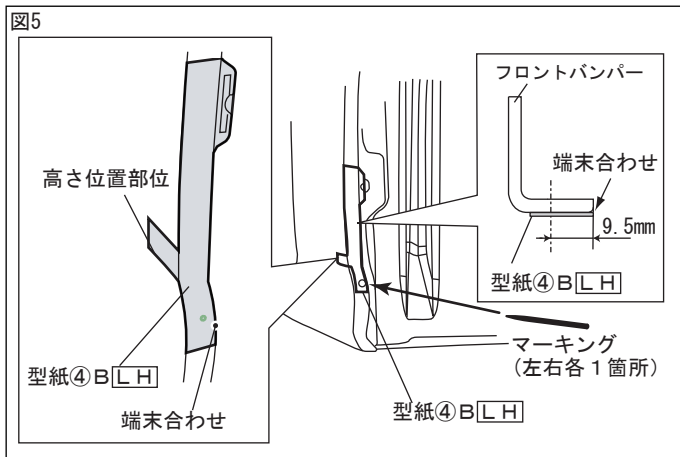
4. 図4のようにフロントスポイラー①に、モール⑦⑧の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。  
[49N (5kgf) 以上]

5. 図4のように脱脂した座面にエンブレム⑨を貼付ける。

👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：モール⑦は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。



## □取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 型紙④B[LH]、[RH]を切り取り、図5のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼り付けマーキングする。

(左右各1箇所)

**アドバイス**：フロントバンパー端末からの距離を測り、異なる場合は、マーキングをやり直してください。

2. 図6のようにφ3、φ7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイールハウスのマーキング位置に下穴をあける。

(左右各1箇所)

3. 図6のように下穴にφ7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。

(左右各1箇所)

4. 図6の拡大図のように、高さ位置の部位を残してキリトリ線で切り取り、型紙を剥がす。

(左右各1箇所)

**アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

**△注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

**△注意**：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

5. 型紙④C[LH]、C[RH]を切り取り、図7のようにロアグリル上端に貼り付ける。

(左右各1箇所)

6. 図8のようにバンパー下面の車両タッピングスクリューを外す。

(左右各3箇所)

図9

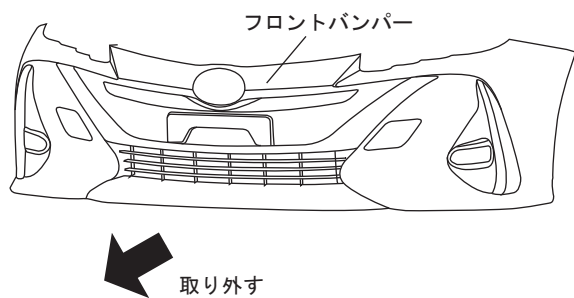


図10 裏面

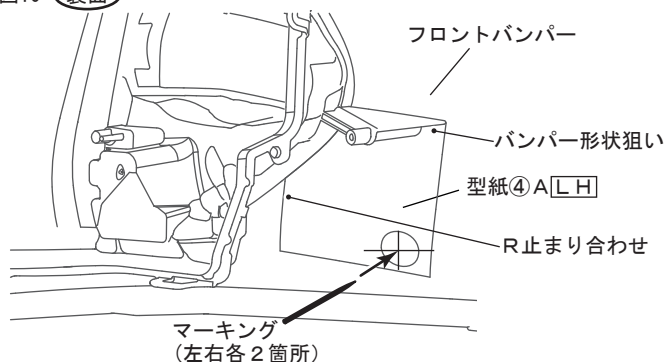
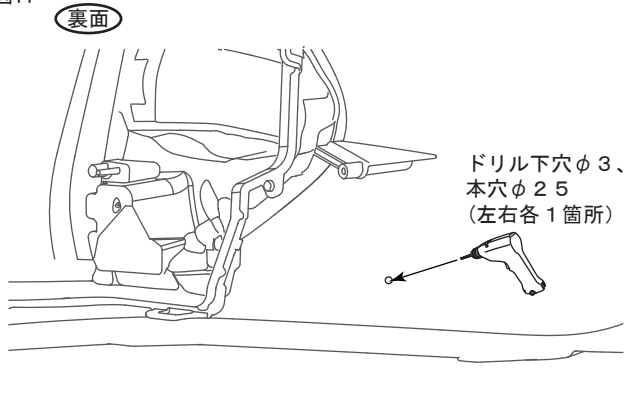
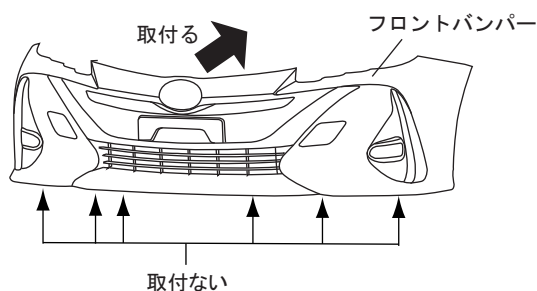


図11 裏面



★LEDデイトタイムランプの取付けは、デイトタイムランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。

図12



### ※ここから

LEDデイトタイムランプ有りの場合のみ作業を行ってください。

7. 該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取り外す。

⚠注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

⚠注意：バンパー取り外し後の加工作業は作業台等の安定した場所で行い、部品の落下やキズ付きに十分注意してください。

8. 型紙④A[LH]、[RH]を切り取り、図10のようにフロントバンパーに貼り付けてマーキングを行い、型紙を剥がす。

(左右各1箇所)

9. 図11のようにドリルの先端にガムテープを巻きつけ、ストッパーを作る。フロントバンパーのマーキング位置に、φ3のドリルで下穴加工を行い、φ25のホルソーで本穴加工を行う。

(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

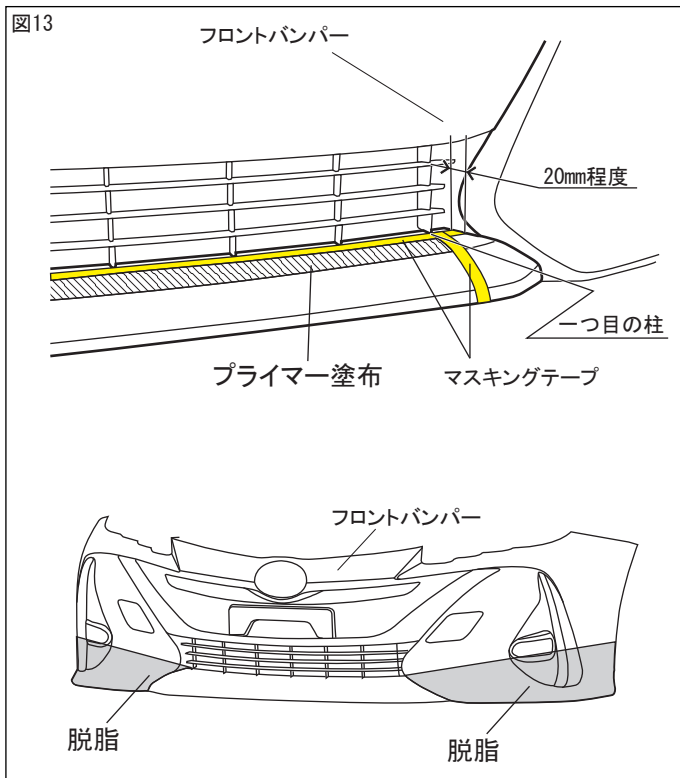
⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

10. 該当車両の修理書に従い、車両にフロントバンパーを取り付ける。

### ※ここまで

LEDデイトタイムランプ有りの場合のみ作業を行ってください。

👉アドバイス：フロントバンパー下部のアンダーカバー、インナーフェンダーの組み付けは、まだ、行わないでください。



11. 図13のように車両シボ面の斜線部をIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂してから、斜線部のみにPACプライマーK-500⑤を塗布する。

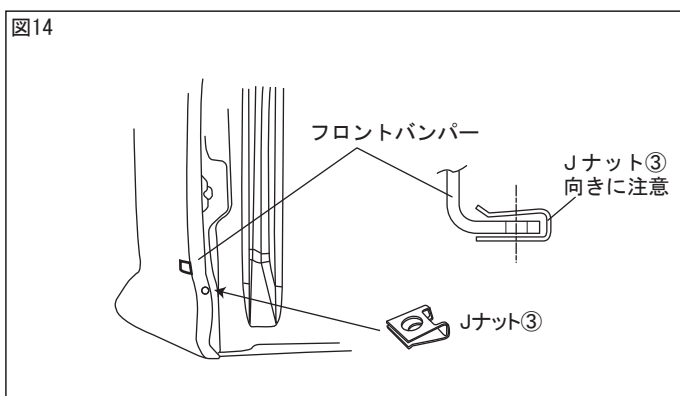
👉 **アドバイス:** 脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

⚠ **警告:** 指示部以外にプライマーを付着させますと、塗装面にダメージを与える事になる為、十分注意して作業してください。

12. 図13のようにフロントバンパー取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

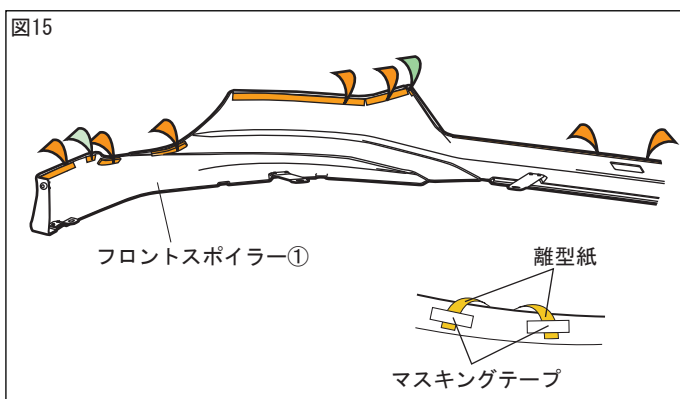
👉 **アドバイス:** 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

👉 **アドバイス:** 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



13. 図14のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット③を差し込む。  
(左右各1箇所)

⚠ **注意:** Jナット③の差込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー②が取付かなくなります。



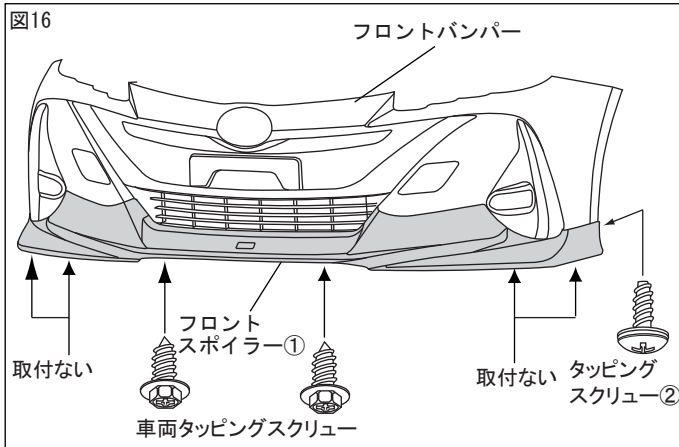
#### □ 取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図15のようにフロントスポイラー①の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。  
(左右各8箇所)

⚠ **注意:** 指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

⚠ **注意:** 離型紙のピックアップテープ(青色)は強く引張ると剥がれる恐れがある為、作業前に必ず離型紙と一緒に少し(10mm)剥がしてから作業を行ってください。



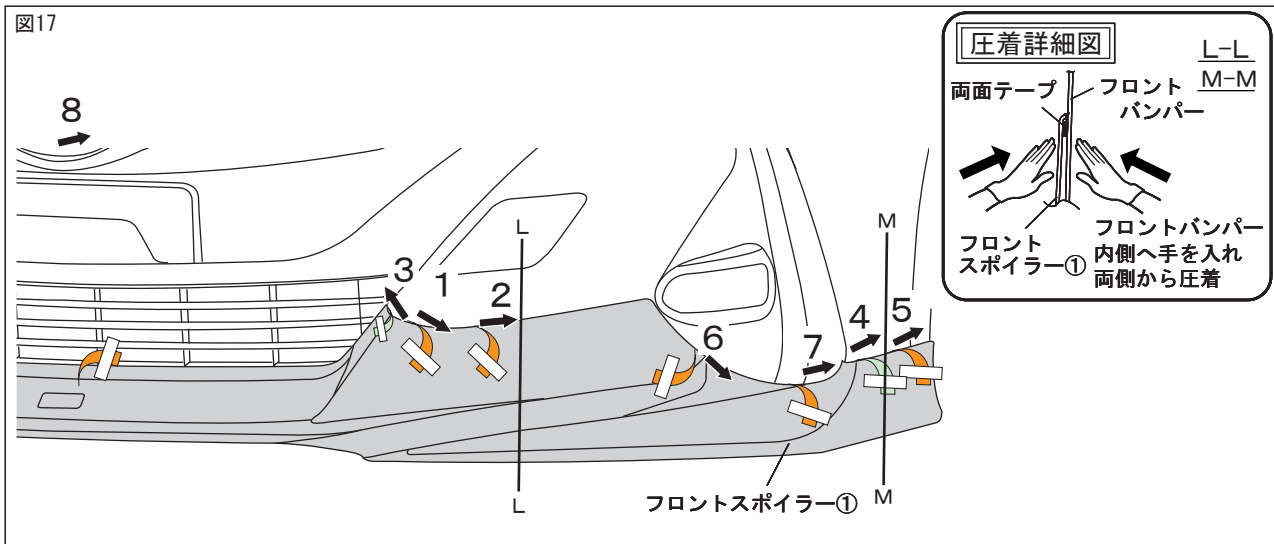
2. 図16のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①をかぶせ、車両タッピングスクリューとタッピングスクリュー②で仮締めをする。

(左右各 2箇所)

👉 **アドバイス:** 本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。又、ほこりのたたない屋内で行ってください。

👉 **アドバイス:** アンダーカバーは後の工程でバンパー裏から圧着する為この工程では取り付けません。

⚠️ **注意:** フロントスポイラー①を取付ける際に、フロントバンパーに傷をつけないように作業してください。



3. 図17を参考にインナーフェンダーをめくり、フロントスポイラー①のセンターとロアグリルの間と、フロントスポイラー①と Fogカバーの間に、左右のズレ、隙が無いを確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

(左右各 7箇所)

**{49N (5kgf) 以上}**

4. めくったインナーフェンダーを元に戻す。

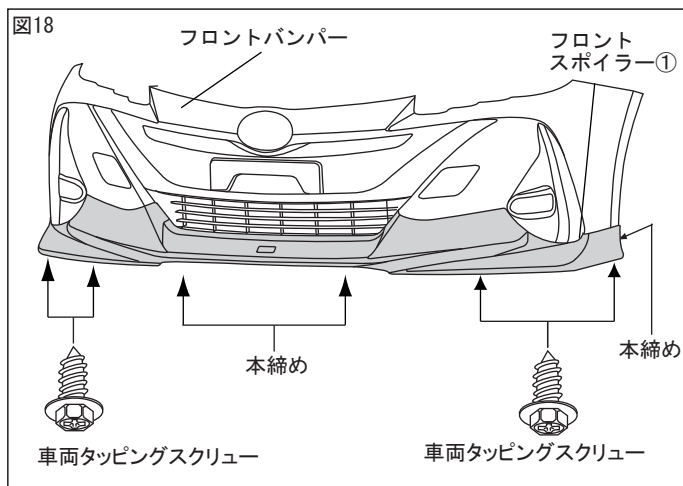
⚠️ **注意:** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠️ **注意:** 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠️ **警告:** 両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠️ **注意:** 両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 **アドバイス:** 両面テープの接着力は安定するまでに3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



5. 図18のように2. で仮締めした車両タッピングスクリュー、タッピングスクリュー②を本締めする。

(左右各2箇所)

6. 図18のように2. で取付ていない車両タッピングスクリューを本締めする。

(左右各2箇所)

⚠注意：LEDデイトタイムランプ装着の場合は、下面部のスクリュー・クリップを一旦外してから配線のクランピング作業を行ってください。クランピング作業後に復元、本締めを行ってください。(LEDデイトタイムランプ取付要領書参照)

👉アドバイス：オーバートルクでの締付けは、タッピングスクリュー・Jナットが破損する恐れがあります。

#### ■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のフォグランプ及びLEDデイランプの点灯点検を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>



81430-ZW510

LEDデイトイムランプセット

取付・取扱要領書

本書は上記LEDデイトイムランプセットの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

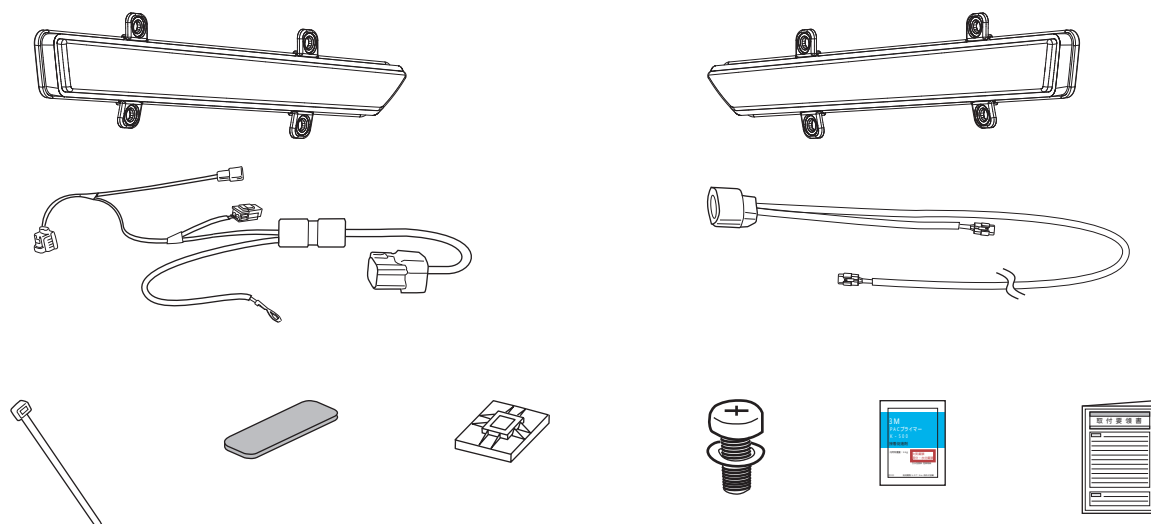
本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。

## 品番・適合一覧表

品番	適合品番	備考
MS341-47015/16	81430-ZW510	プリウスPHV 全適合 ZVW52

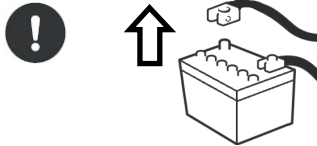
## 構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	LEDランプ RH		1	
	LEDランプ LH		1	
	ハーネスA		1	ユニットボックス付
	ハーネスB		1	LED接続ハーネス
	結束バンド		19	1 = 150
	クッション		4	100 × 50
	結束バンドベース		2	558 - 3M
	ボルト		8	M3 × 8
	PACプライマー		1	
	取付説明書		1	本書は大切に保管してください。



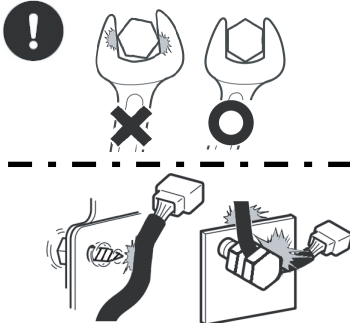
## LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください  
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



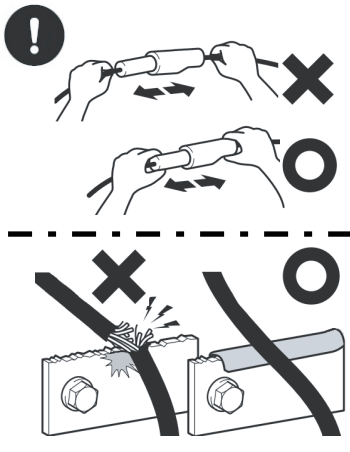
### 取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



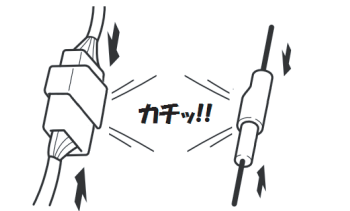
### 部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

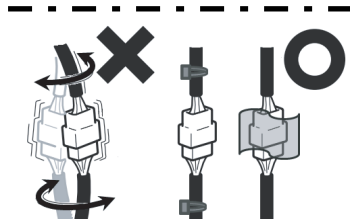


### 配線の取りまわしは

- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



### 配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

### ⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

**目次**

- 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1
- 2. 配線取付け上の注意 . . . . . 2
- 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 3
- 4. 取付け要領 . . . . . 3 ~ 7
- 5. 取付け後の確認・点検・回路図 . . . . . 8

**取付けに必要な工具・保護具・消耗品**

- ・ハサミ、カッター、ニッパー、ラチェット、六角ドライバー、定規・保護テープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)、清潔なウエス

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

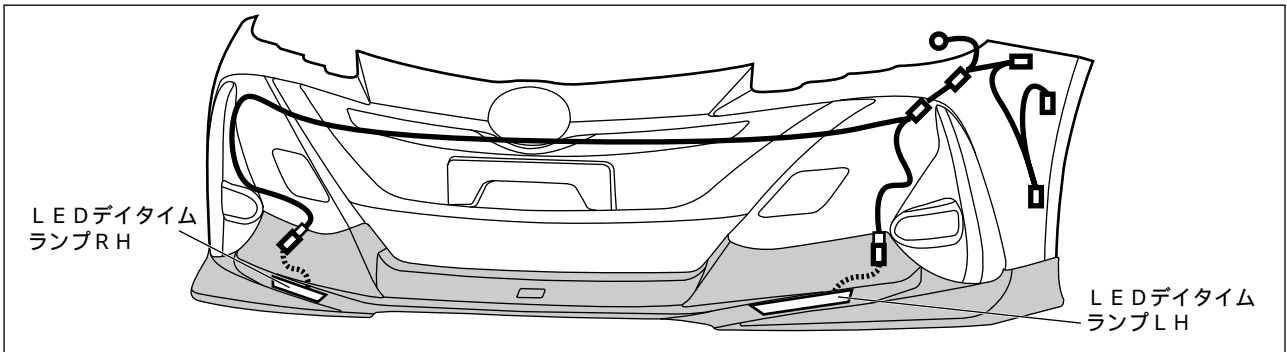
(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト <<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

**取付構成図**



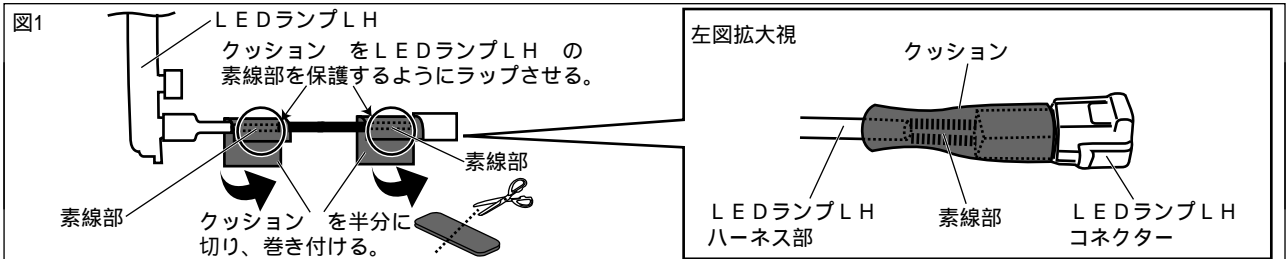
**LEDデイタイムランプセット取付けについて**

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線作業を記載しています。

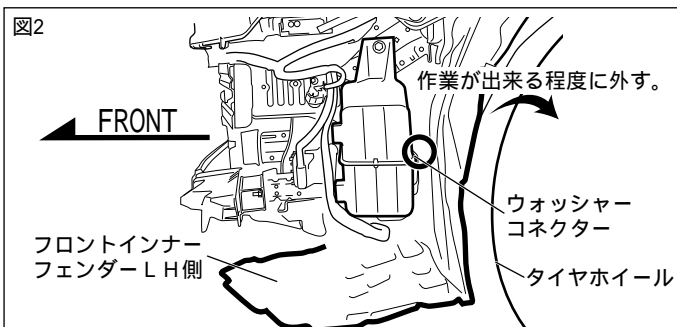
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

**LEDデイランプ取付準備**

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しております、RH側も同様に行ってください。



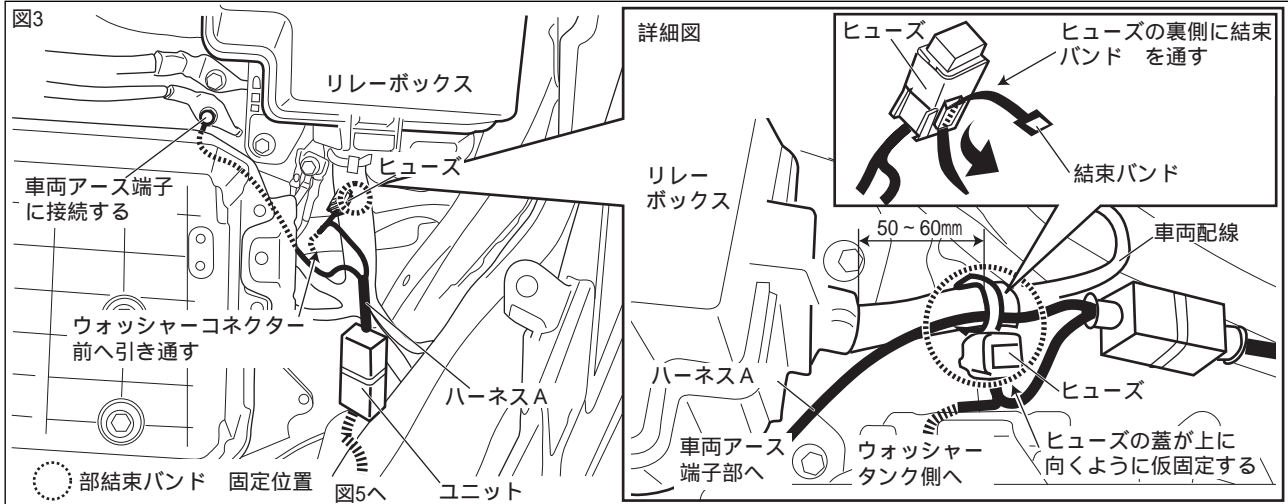
1. 図1のように、クッションを半分に切り、LEDランプLHの素線部を保護するようにクッション1/2を巻き付ける。(2箇所)
2. RH側も同様の作業を行う。



**配線の組付け**

1. 図2のように、ウォッシャーモーター付近のフロントインナーフェンダーの一部を取り外して、ウォッシャーモーターのコネクターを取り外す。  
作業は、フロントバンパー取り外し状態での作業となります。

△注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



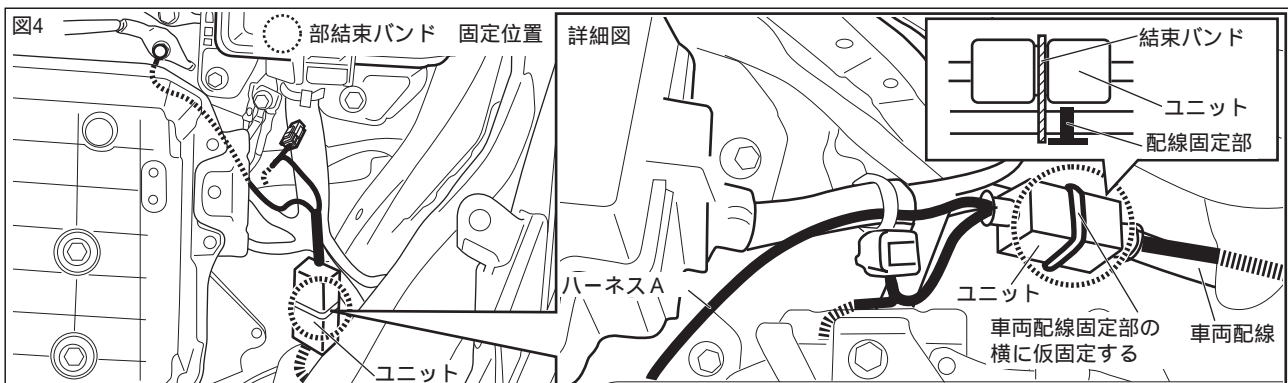
2. 車両修理書に従い、車両バッテリー、バッテリーブラケットを取り外す。

3. 図3のように、車両配線に沿ってハーネスA を配置する。

4. 図3のように、ハーネスA アース端子を图中的アースポイントに接続して締め付ける。〔8.5 N・m〕

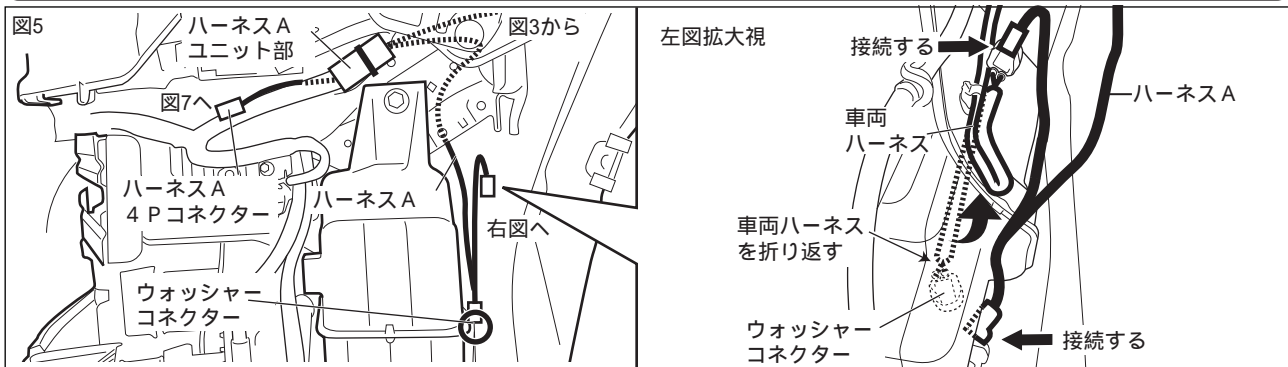
5. 図3詳細図のように、ハーネスA のヒューズの裏側に結束バンド を引き通し、ヒューズのフタが上を向くように配策し、リレーボックスから50～60mmの位置で車両配線に仮固定する。(1箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



6. 図4のように、ハーネスA ユニット部を結束バンド を使用して車両配線に沿って配線固定部に仮固定する。(1箇所)

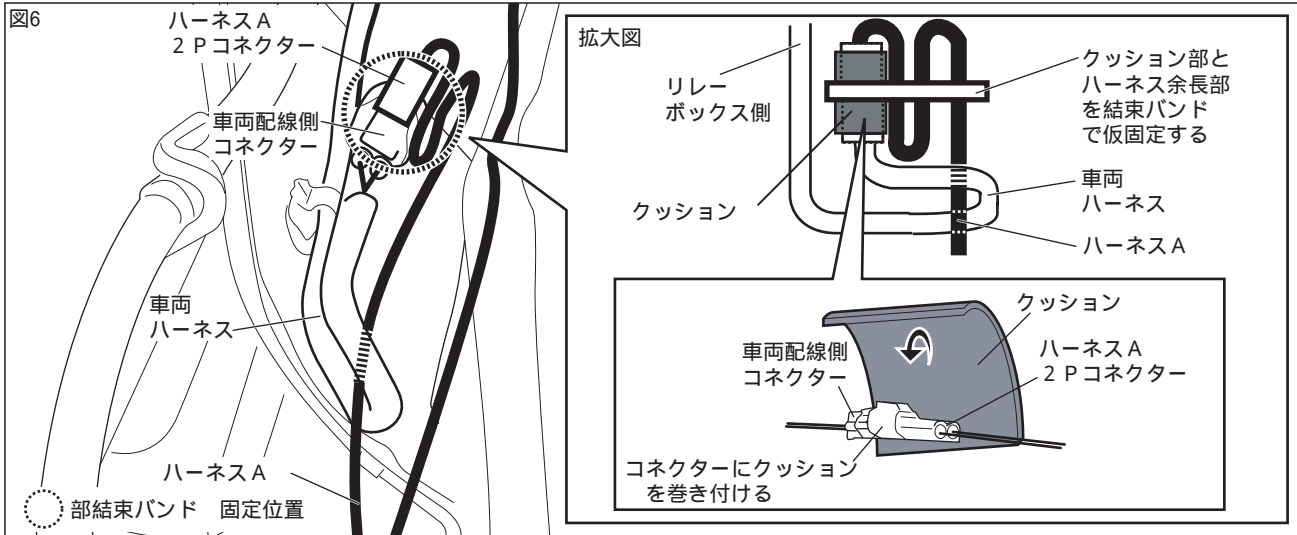
△注意：結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。



7. 図5のように、ハーネスA をウォッシャータンク側に引廻し、車両配線に沿って配置する。

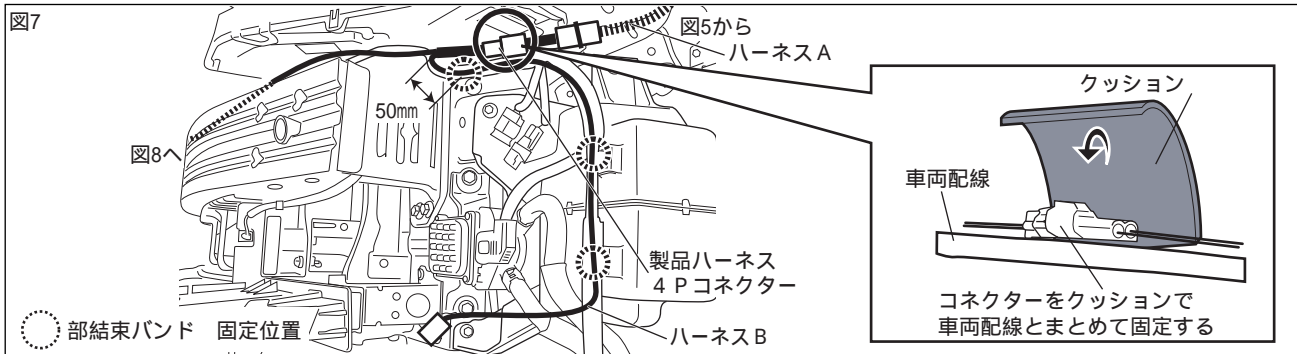
8. 図5のように、ウォッシャーコネクタを外し、ハーネスA を割り込ませて接続する。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。



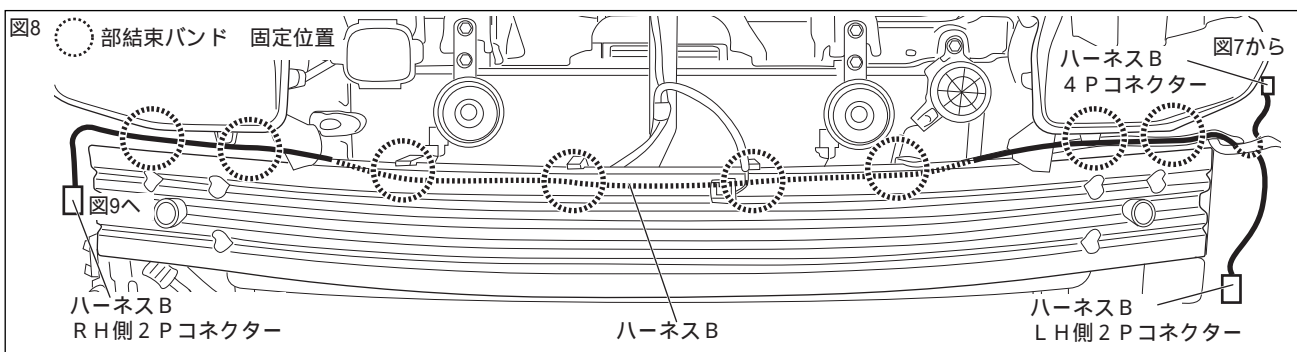
9. 図 6 拡大図のように、車両コネクタと接続したハーネス A 2 P コネクタに、クッション を巻き付ける。 (1箇所)
10. 図 6 のように、クッション部とハーネス余長部を結束バンド で仮固定する。 (1箇所)

△注意：結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。



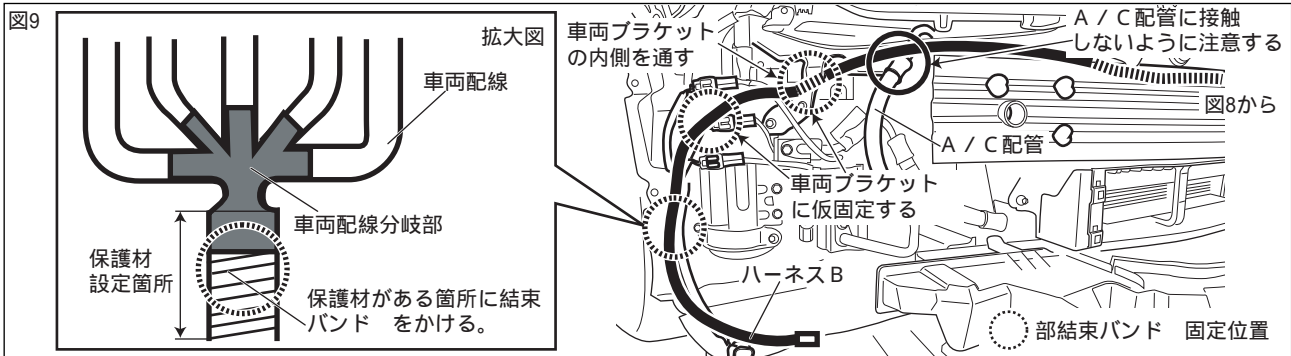
11. 図 7 のように、ハーネス B を車両配線に沿って配置する。
12. 図 7 のように、ハーネス A とハーネス B の 4 P コネクタを接続し、クッション で車両配線に巻き付け固定する。 (1箇所)
13. 図 7 のように、ハーネス B を車両配線分岐部から50mmの位置で、結束バンド を使用して車両配線に仮固定する。 (1箇所)
14. 図 7 のように、ハーネス B を結束バンド を使用し車両配線に仮固定する。 (2箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



15. 図 8 のように、ハーネス B を車両配線に沿って配置する。
16. 図 8 のように、ハーネス B を結束バンド を使用し車両配線に仮固定する。 (8箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



17. 図9のように、ハーネスB を車両配線に沿って配置する。

18. 図9のように、ハーネスB を車両ブラケットに仮固定する。

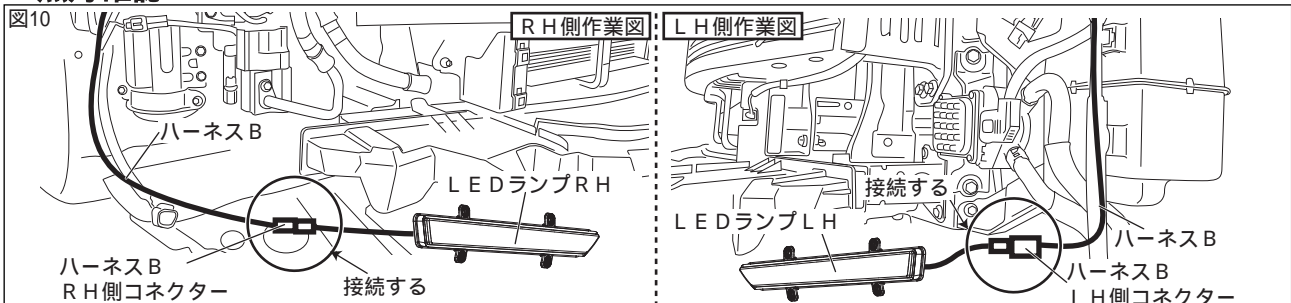
(2箇所)

19. 図9のように、ハーネスB を結束バンド を使用し、車両配線に沿って保護材がある箇所に仮固定する。

(1箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。

### 点灯確認



1. 図10のように、ハーネスB 2PコネクタとLEDランプRH・LEDランプLH の2Pコネクタをそれぞれ接続する。

2. バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。

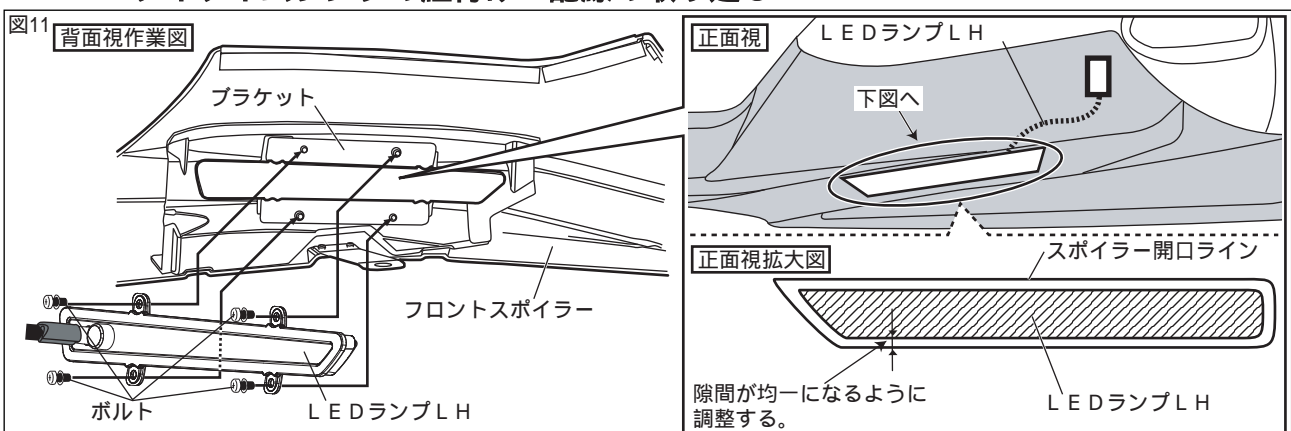
3. 仮接続した⊖端子とLEDランプRH・LEDランプLH のコネクタを取外す。

4. 点灯確認後、仮固定している各部の結束バンド のハーネスの張り・弛みを調整し、干渉等が無いことを確認して本締めする。

(17箇所)

△注意：結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締付けて、締めすぎに注意してください。

### LEDデイタイムランプの組付け・配線の取り返し



1. 図11のように、LEDランプLH をフロントスポイラーのブラケットにボルト を使用して仮付けする。

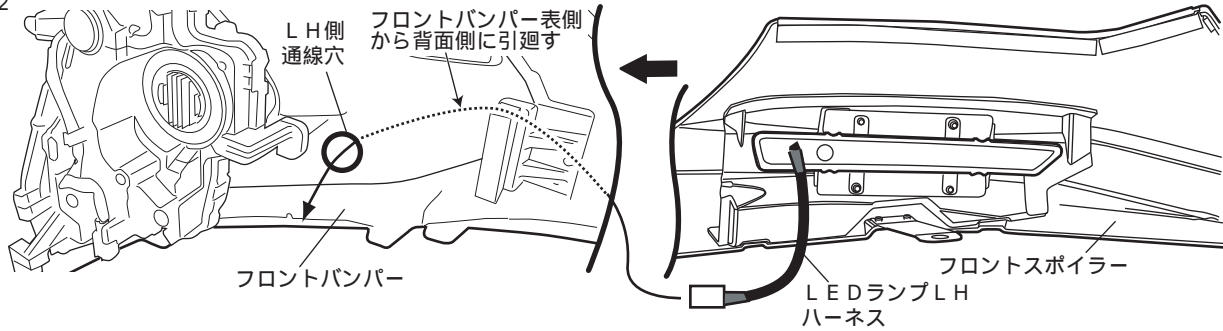
(4箇所)

2. 図11拡大図のように、フロントスポイラーとLEDランプLH の周囲の隙間が均一になるように調整し、本締めする。

(1箇所)

3. RH側も同様の作業を行う。

図12



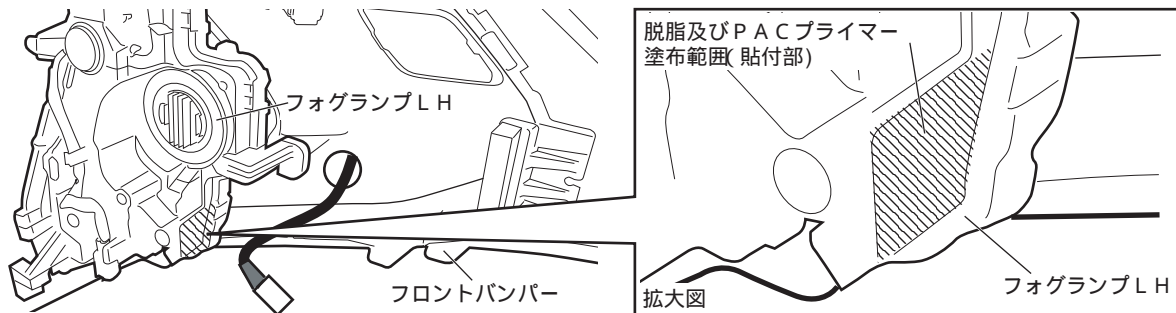
4. 図12のように、LEDランプRH・LHハーネスをフロントバンパー通線穴から通し、フロントスポイラーをフロントバンパーに組付ける。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

フロントスポイラー組付けは、フロントスポイラー取付要領書に従い、取付作業をしてください。

### フロントバンパー側 LEDデイランプハーネスの配策

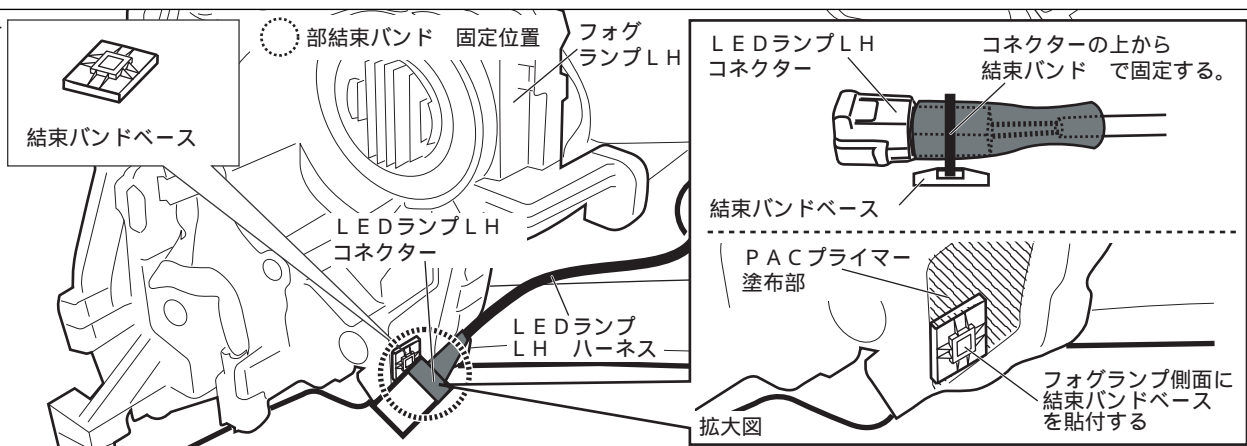
図13



- 図13のように、脱脂範囲(貼付部)のフォグランプLHの汚れを取り除きホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(以下、IPAという)で一方向に拭いて脱脂し、PACプライマーを塗布する。(1箇所)
- RH側も同様の作業を行う。

△注意：脱脂を行う際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図14



3. 図14のように、PACプライマー塗布部に結束バンドベースを貼付する。(1箇所)

△注意：結束バンドベースの貼付面に隙間があると、脱落の原因になりますので必ず平らな面に貼り付けてください。

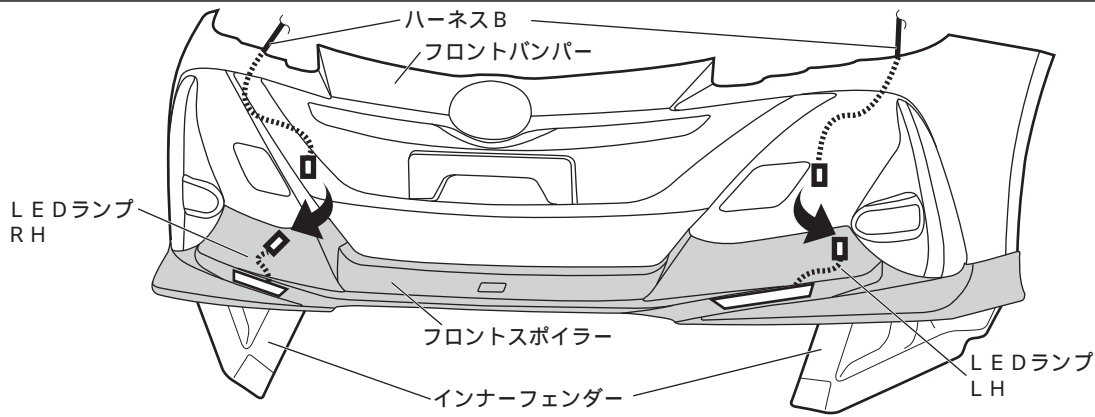
4. 図14のように、結束バンドベースにLEDランプLHコネクタを結束バンドで固定する。(1箇所)

△注意：結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。

5. RH側も同様の作業を行う。

## フロントバンパーの復元と接続

図15



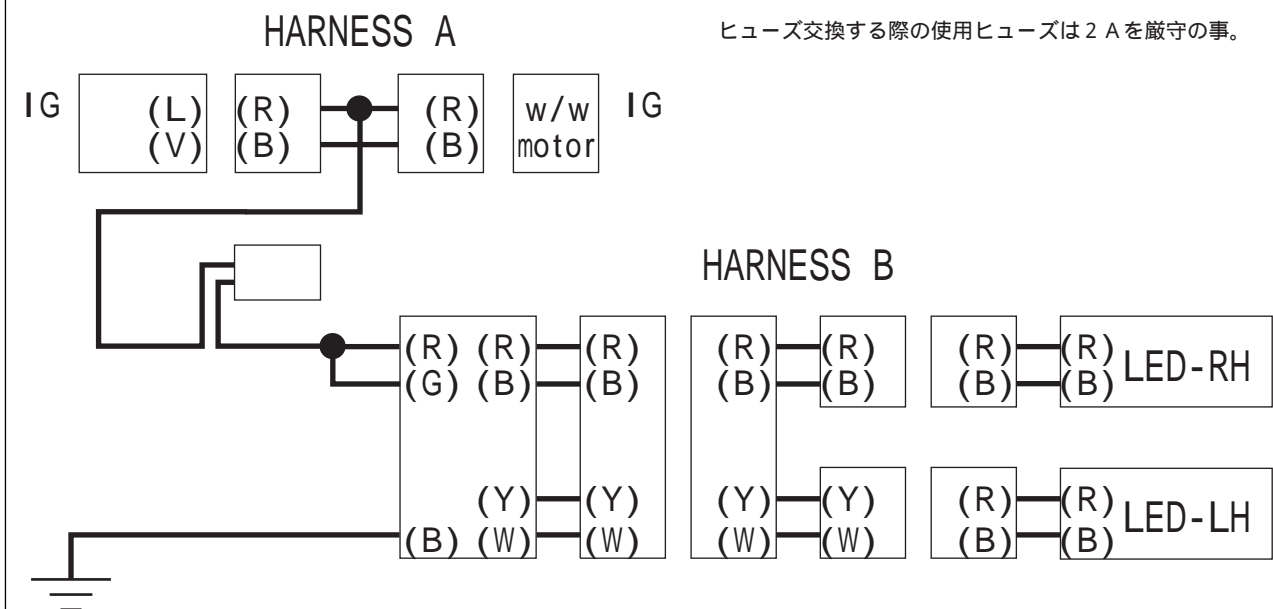
1. 図15のように、インナーフェンダーを残した状態にして、フロントバンパーと取り外した車両部品を復元する。

⚠注意：車両部品の復元時、配線のかみ込みに注意してください。

2. 図15のように、ハーネス B 2 PコネクターとLEDランプRH側・LH側コネクターを接続する。
3. バッテリー(+)端子を復元する。
4. イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
5. インナーフェンダーと外した全ての部品を復元する。

フロントバンパーの復元は、車両修理書に従い、復元作業をしてください。

### 回路図(図16)



### 取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. 製品、及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. ウインドウォッシャーの作動点検を行う。
4. イグニッションONの状態でLEDランプが正常に点灯することを確認する。
5. 該当車両の修理書に従い、取付けに伴い脱着した部位の調整・再設定を行ってください。